国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

WISENET 2050

令和７年１０月１５日
四国地方整備局
松山河川国道事務所

松山の朝を変える渋滞緩和の取組に参加しませんか？
～朝に松山市中心部へ向かう方などを対象に社会実験を実施～

松山都市圏では、朝の通勤時間帯において松山市中心部へ向かう方向を中心に慢性的な混雑が発生しています。（国道 33 号は中心部から砥部町へ向かう方向も混雑しています。）

そこで、**朝の通勤時間帯に松山市中心部へ向かう方**や**国道 33 号で砥部町方面へ向かう方**を対象に、**通勤時間・通勤手段などの変容**を呼びかけ**渋滞緩和につなげる社会実験**を行います。

この取組は、令和 4 年度から実施しているもので、今回で 4 回目となります。渋滞の緩和だけでなくCO_2削減など SDGs につながる効果も期待されますので、みなさまのご協力をお願いします。

〇対　象　者：朝の通勤等で松山市中心部へ向かう方など（別紙1・2参照）

〇実施期間：令和7年10月27日（月）～11月7日（金）の平日　朝

〇取組内容：通勤時間・通勤手段などの変容を呼びかけ（別紙1・2参照）

【特設サイトはこちらから https://matsuyama-tdm.com/】
こちらの 2 次元コードからも確認いただけます！⇒

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組および WISENET2050 の実現に向けた政策コンセプトに関連します。
※本施策は、SDGsの 17 の目標の内、右記に該当します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

愛媛県渋滞対策協議会

（発表先）愛媛県番町記者クラブ
※愛媛県渋滞対策協議会構成員

愛媛大学、国土交通省四国地方整備局道路部、同松山河川国道事務所、同大洲河川国道事務所
国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局、愛媛県、愛媛県警察本部、松山市、新居浜市
西日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)
【オブザーバー】愛媛大学、愛媛県道路利用者会議愛媛県トラック協会、伊予鉄バス（株）、今治市、宇和島市、八幡浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、松前町、砥部町、愛南町
【事務局】国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所計画課、愛媛県土木部道路都市局道路建設課

【問い合わせ先】

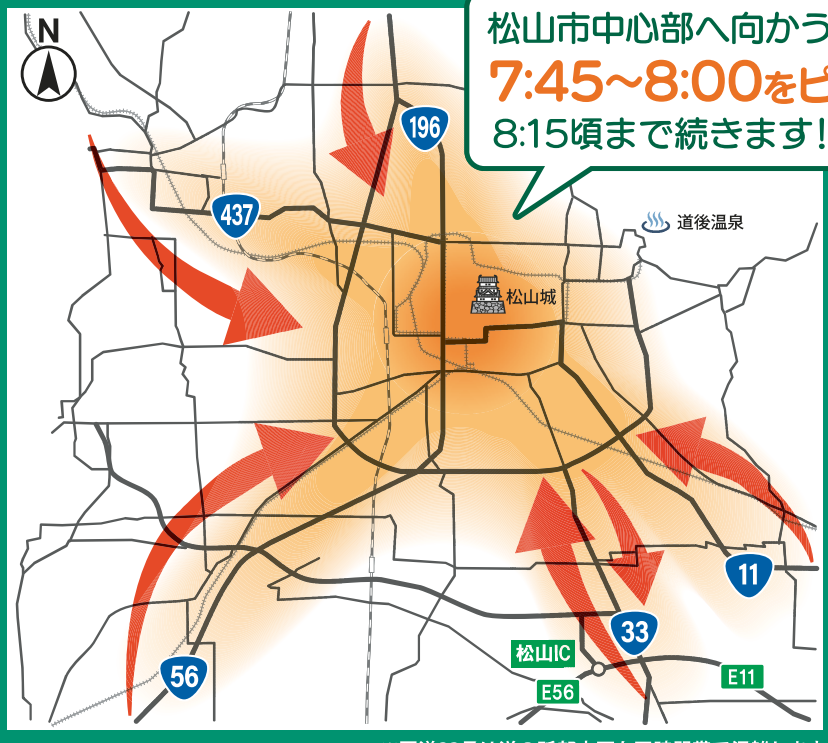
国土交通省　四国地方整備局　松山河川国道事務所
副 所 長　石川　英治（いしかわ　えいじ）　tel:089-972-0034（代表）
◎計画課長　森　貴洋（もり　たかひろ）　tel:089-972-0415　◎:主な問い合わせ先

松山の朝を変える

2025年 10/27(月)～11/7(金)の平日

渋滞緩和のための取組に参加しませんか？

ひとりひとりが行動を変えれば、渋滞はもちろん、環境にも健康にも効果あり！
通勤の方法を見直すなど、できることから少しずつチャレンジしてみませんか？



松山市中心部へ向かう混雑は
7:45～8:00をピークに
8:15頃まで続きます！

※国道33号は逆の砥部方面も同時間帯で混雑します

特設サイトでは、昨年度の取組結果や参加者の声も紹介中です！

掲載要件
参加登録書にて、事前に参加表明を確認できた企業・団体様が対象となります。
（参加登録書は特設サイトに掲載しています）

※公共交通機関の利用、出勤時間の変更、走行経路の変更、自転車利用、テレワークの活用などの取り組みが対象となります。

スマホからでも！

参加を宣言していただいた企業・団体様は、特設サイトなどで紹介します！

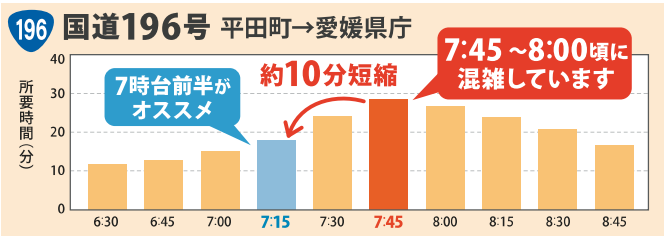
https://matsuyama-tdm.com/

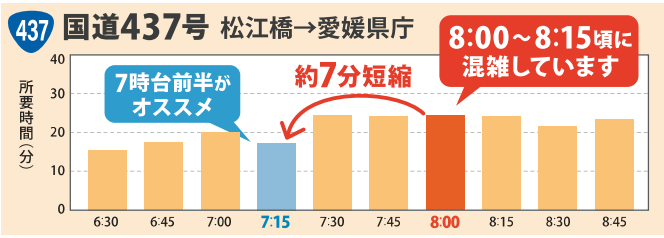
お問い合わせ 愛媛県渋滞対策協議会※
（事務局）国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 計画課
TEL：089-972-0415　FAX：089-972-8117
※国土交通省・愛媛県・松山市などで組織する協議会です

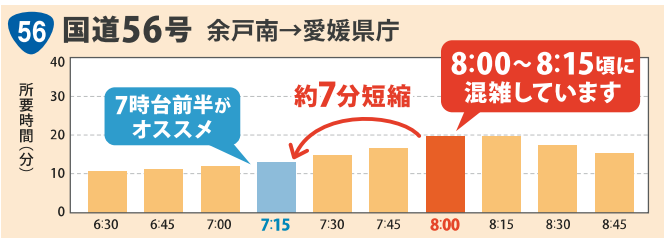
渋滞は交通の集中が原因。通勤方法を見直してみませんか？

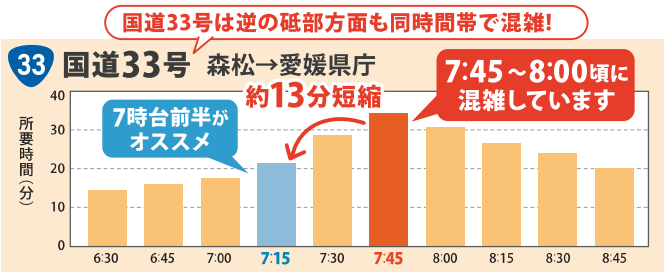
時間帯の変更

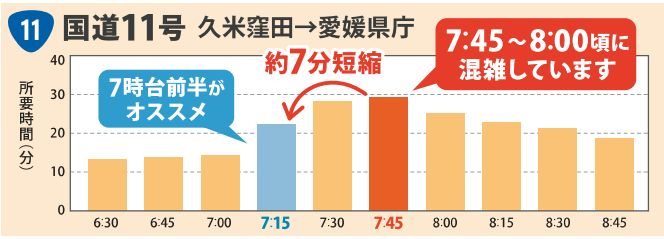
渋滞する時間帯を避けた通勤がオススメ！











※グラフの時刻は地図上の交差点を通過する時刻を指す。
使用データ：ETC2.0プローブデータ 令和6年10月 平日

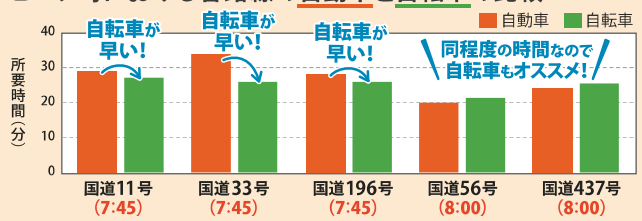
公共交通機関の利用

バスや鉄道（路面電車も含む）は
渋滞緩和だけでなく
環境や個人の
健康にも効果アリ！

自転車利用

ピーク時間帯の通勤なら
自転車もオススメ！

ピーク時における各路線の自動車と自転車の比較



※延長と平均速度(14.6km/h)から算出　※(時刻)は地図上の交差点を通過する時刻

テレワークの実施

自宅等で勤務することも渋滞緩和に
つながり、移動時間も有効に活用できます！

関連施策とも連携を図り、市内の交通環境の改善に取り組んでいきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

気軽にスポーツ 健康チャレンジ

愛媛県（地域スポーツ課）

運動をした愛媛県在住の方を対象に、毎月抽選で素敵な賞品をプレゼント中です。スマートフォン等でスポーツやウォーキング記録をとって、ご応募ください。

愛媛県「健康チャレンジ」

デカボえひめプロジェクト

愛媛県（環境・ゼロカーボン推進課）

脱炭素化に向けた県民の皆さんの行動変容を促すため、楽しみながら脱炭素につながるアクションを実践するプロジェクトです。

愛媛県「デカボ」

みんなで始めよう！エコ通勤

松山市（都市・交通計画課）

バスや電車、自転車や徒歩など、環境負荷の小さい通勤方法に変えることで、渋滞緩和、地球温暖化防止、健康増進や交通事故減少などを推進する取組。

松山市「エコ通勤」

デコ活

松山市（環境・ゼロカーボンシティ推進課）

「デコ活」とは、国・自治体・企業等が連携して、脱炭素につながる新しい暮らしを創る国民運動のことで、松山市は、この「デコ活」を推進しています。

松山市「デコ活」

ＴＤＭ※の社会実験範囲について

別紙２

○令和６年度は、松山市中心部へ通勤または中心部を通過する車両を対象とし、通勤時間・通勤手段などの変更を呼びかけ。
○令和７年度は、**松山市中心部へ通勤または中心部を通過する車両**を対象とし、特に渋滞が顕著だった**国道３３号を砥部町方面へ通過する車両**にも通勤時間・通勤手段などの変更を呼びかけ。

※Transportation Demand Management（交通需要マネジメントの略）

■ 令和６年度の概要

対　　象

・□内へ通勤または通過する車両（地図中 → 方向）

取組内容

・松山市中心部は7：30～7：45をピークに8：15まで渋滞が発生
・対象期間で通勤時間・通勤手段などの変更を呼びかけ
（詳細は参考資料２参照）

■ 令和７年度の概要

対　　象

・□内へ通勤または通過する車両（地図中 → 方向）
・□内から砥部町方面へ通勤する車両（地図中 → 方向）
※国道33号のみ

取組内容

・松山市中心部は7：45～8：00をピークに8：15まで渋滞が発生
・対象期間で通勤時間・通勤手段などの変更を呼びかけ
（詳細は別紙１参照）

松山都市圏におけるＴＤＭ施策の広報概要（令和７年度広報）

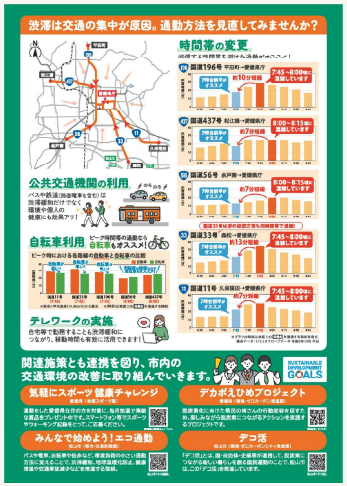
参考資料１

○ＴＤＭ施策の取組を広く伝えるために、<u>行政間で連携</u>し、<u>多様な情報媒体により広報活動</u>を行う。

■ <u>ＴＤＭ施策の導入に向けた道路利用者への広報</u>

チラシ	看板・横断幕など	カーナビ	ホームページ・SNS	R7新規 プッシュ広告
・市内企業への郵送（中心部・臨海部） ・愛媛県庁、松山市役所での掲示	・歩道橋への横断幕 ・路上看板 ・道路情報板	・VICS（文字情報配信）	・特設ホームページ ・市･県ホームページとのリンク ・SNS	・個人のスマートフォンにある検索アプリを通して、取組の情報を配信

チラシ



横断幕

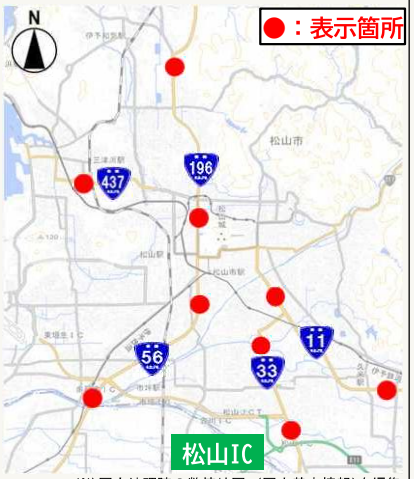
路上看板

道路情報板

※実施期間は令和６年度

VICSイメージ

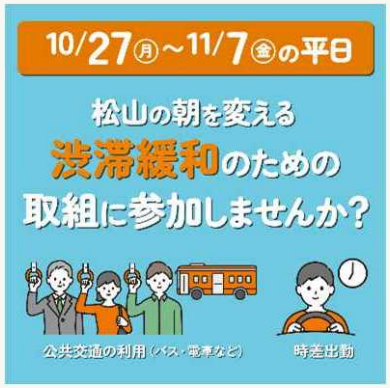
１０月２７日～１１月７日の朝に混雑緩和の取組を実施します。



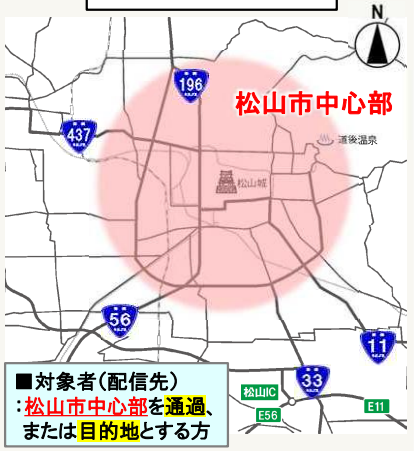
※）国土地理院の数値地図（国土基本情報）を編集

特設ホームページ

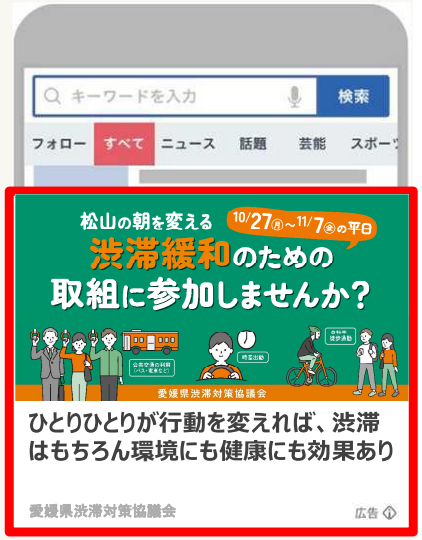
松山市公式LINE



プッシュ広告



■対象者（配信先）
：松山市中心部を通過、または目的地とする方



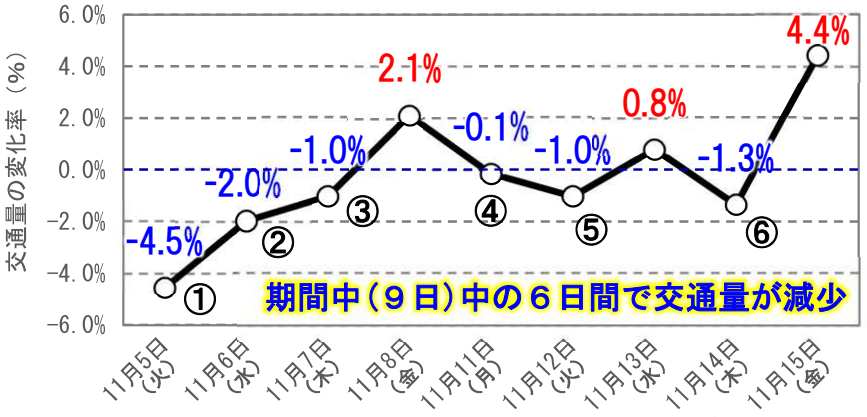
松山都市圏におけるＴＤＭ施策の社会実験（令和６年度取組内容）

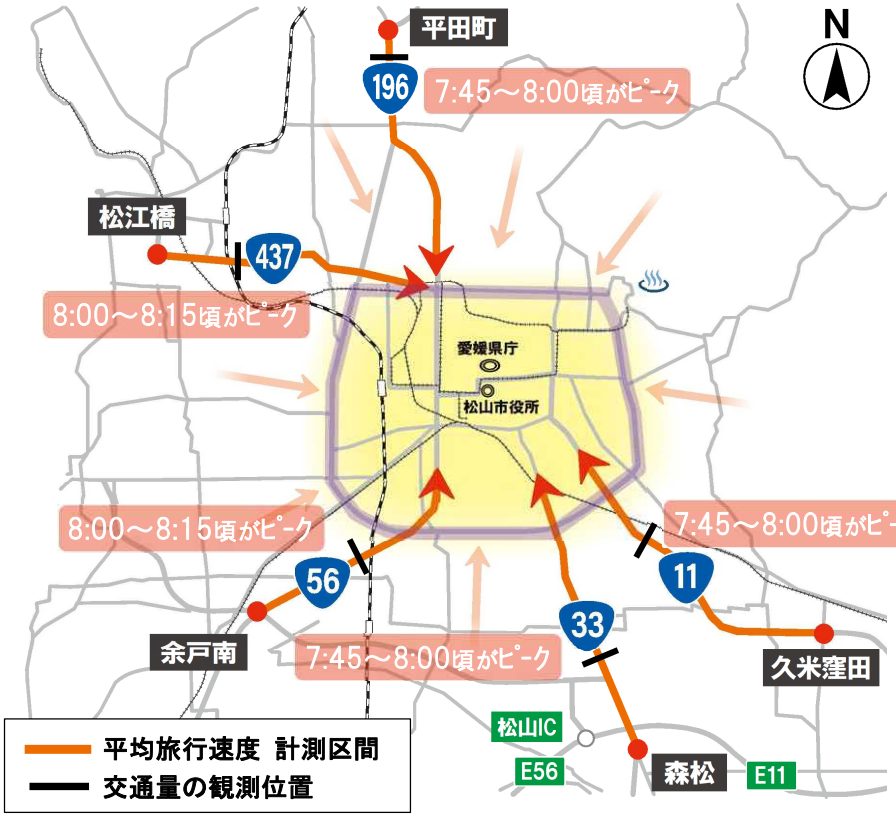
参考資料２

○令和６年11月5日（火）～15日（金）の期間、松山市中心部へ向かう車両を対象にＴＤＭ施策の社会実験を実施。
○実施した９日間のうち、**６日間でピーク時間帯の交通量が減少**し（最大4.5%）、**主要路線の旅行速度は軒並み向上**した。
○主要路線を対象にCO_2削減量を推計した結果、**９日間合計で約1,016kg**（**一般家庭143軒分/日**）の削減効果を得ることができた。

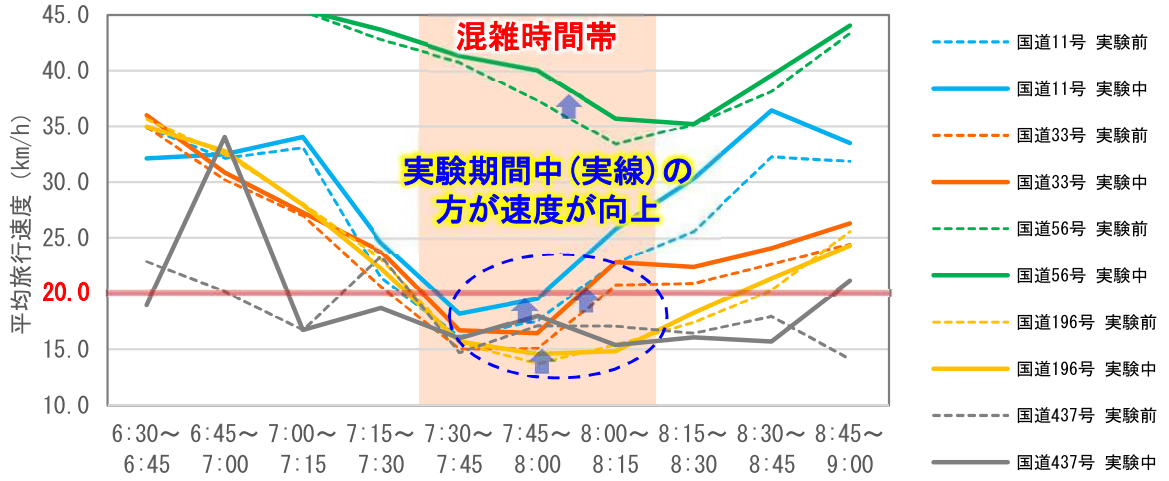
■主要路線（5路線）の交通状況の変化

●ピーク時間帯の市内向き交通量の変化率　※代表断面（地図参照）

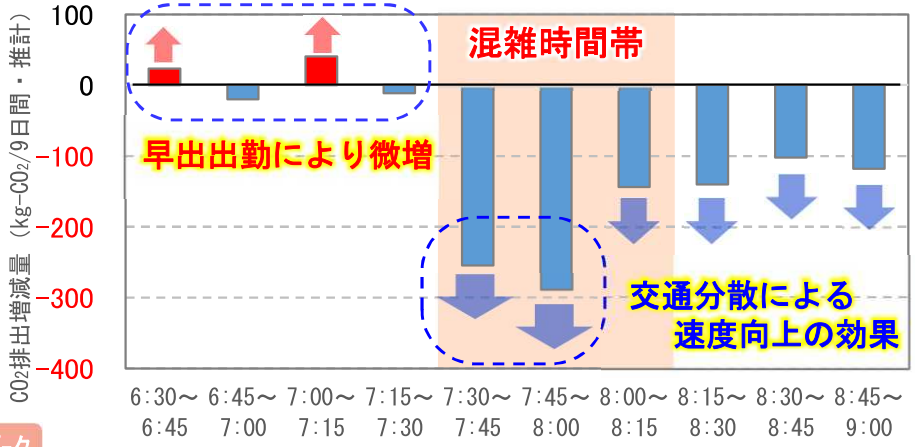




●市内向き旅行速度の変化（6:30～9:00）　※外縁部から環状線（　）付近まで（地図参照）



●CO_2の排出増減量（6:30～9:00）　※主要5路線の合計（実施９日分・推計）



6:30～9:00のCO_2削減量は1,016kg（9日間合計）

||

一般家庭※143軒分のCO_2排出量に相当（143軒分の1日の量）

※家庭部門のCO2排出実態統計調査（家庭CO2統計）（環境省、R6.3）の公表値を採用
【世帯当たりの年間CO2排出量2.59(t-CO2)】　2.59/365*1000≒7.1(kg-CO2)/日

＜CO_2排出量の推計方法※1＞

CO_2排出量＝Σ（区間交通量×区間距離×CO_2排出係数※2）

※1：モビリティマネジメント施策評価のためのガイドライン（（社）土木学会　土木計画学研修委員会）
※2：国土技術政策総合研究所資料 第671 号 「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22 年度版）」
（CO_2 排出係数は、旅行速度から定まるものであり、旅行速度が低速の場合、数値が大きくなる）

使用データ：ETC2.0プローブデータ（実験前：R6.10平日、実験中：R6.11.5～15　6:30～9:00）

松山都市圏におけるＴＤＭ施策の表彰式（令和６年度取組）

参考資料３

〇企業単位の参加を促す方法として、令和5年度に続き、愛媛県渋滞対策協議会で表彰制度を適用。
〇社会実験への参加を宣言していただいた企業を対象に、渋滞緩和への貢献が高い取組が行われた企業に対して表彰を実施。

令和6年度 渋滞緩和貢献企業等表彰

大　賞

四国ガス 株式会社 様

受賞者のコメント　身近な地域の環境問題に目を向けることで、社員一人ひとりがCO2削減への貢献を今まで以上に意識するきっかけとなりました。社員からも「出勤時間を変えることで数十分の時間短縮ができたので、今後も継続して実施したい」という声が聞かれました。

貢献賞

社会福祉法人　愛媛県社会福祉事業団 様

受賞者のコメント

前年度に比べて、参加者の数も増えました。従業員の中でも渋滞緩和に対する意識づけがなされてきています。

貢献賞

株式会社 二神組 様

受賞者のコメント

ラッシュ時間帯を避けることで、通勤時間の短縮に繋がりました。早く出勤したことにより、余裕を持って仕事に取り掛かかれました。

創意工夫賞

株式会社 芙蓉コンサルタント 様

受賞者のコメント

自転車で通勤することによって、フレッシュな気分で仕事を始めることができました。